

令和 2(2020)年 3 月 4 日

保護者の皆様

吹田市立第三中学校  
校長 上西 創司  
教育課程委員会

## 学校教育アンケートの結果について

平素は本校の教育活動に、ご支援とご協力を賜りありがとうございます。さて、12月に実施しました学校教育アンケートに、ご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます。つきましては、分析結果をお知らせします。

今後、アンケートの結果を踏まえ、本校教育のより一層の充実に向けて取り組んでいきますので、よろしく願い申し上げます。

### 【保護者アンケートから】

#### 1. 保護者の方の高い学校への関心

今回の保護者対象アンケートの回収率は83%でした。昨年に続き、多くの保護者の方が、学校教育活動に高い関心を示していただいている現れと捉えています。

#### 2. 学校の取り組みの評価について

アンケート24項目中、高い評価（肯定的な回答率が80%以上）のあった項目が9項目、概ね高い評価（肯定的な回答率が79%～60%）のあった項目が13項目となりました。以上の結果から、本校の教育活動については、概ね肯定的に捉えていただいていると思えますが、いまだ低い評価にとどまるものも残っており、今後も課題改善にむけた努力が必要と考えています。

#### 3. 魅力ある教育活動について

「子どもは、文化祭、体育大会、校外学習などの行事に、積極的に参加している」については、9割以上の肯定的な回答がありました。また、「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」、「学校の雰囲気が良く、子どもたちはいきいきしている」についても、肯定的な回答率が高く出ています。今後も、これらの活動を深化させながら継続していきます。また、生徒たちの成長する姿を見て頂きたいと考えています。

#### 4. 学校の説明責任について

「学校は、保護者が授業参観をする機会をよく設けている」については9割近くの肯定的な回答がありました。今年度も祝日参観を実施し、生徒の姿をご覧いただきました。また、教育方針をわかりやすく伝えていることや、家庭との意志疎通をはかることについては概ね肯定的な回答でした。今後も保護者の方に、学校の方針や学校目標・教育内容を積極的にお知らせし、理解を深めていただけるよう学校便りや校長ブログ等を工夫していきたいと考えています。

#### 5. 学校の危機管理について

子どもの安全確保については、「台風や火災・地震時などの対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている」については、9割以上の肯定的な回答がありました。学校としては、子どもの命を守り、安心・安全を確保することは、最重要課題であると認識しており、これまでも専門機関等と連携した避難訓練を実施してきました。侵入事案が生じた時も警察と迅速に連携し生徒たちの安全確保に努めました。今後も、学校の危機管理を高めるとともに、犯罪防止教室等を開設して、子どもたちの危機回避能力の育成にも努めていきたいと考えています。

## 6. 改善が必要な事項

「子どもは学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」については、これからも、学校の中核は授業であるという認識のもと、授業研究等を積み重ね、「わかる授業」、「学ぶ楽しさが実感できる授業づくり」をすすめ、重点的に取り組んでいきたいと考えています。また、子どもの悩みや相談に対応できるように、子どもとの信頼関係を築いていくことや、子どもたちに人権意識や社会のルールやマナーを身につけさせることも大変重要であると捉えています。今年度、道徳教育について、吹田市の委託を受け研究してまいりました。今後とも、これらの課題の克服のために、道徳教育・人権教育の推進に取り組んでいきます。

### 【生徒アンケートから】

#### 1. 学校生活について

学校生活については、「部活動に参加するのは楽しい」、「学校行事はみんなが楽しく行えるよう工夫してある」、「昼休みの予鈴がなくても、時間を守って行動できた」の項目で、肯定的な回答が8割以上ありました。また、「学校へ行くのが楽しい」については8割近くの肯定的な回答がありました。子どもたちは概ね学校生活に満足している様子が伺えます。さらに子どもたちの実態を正しく把握し、教育活動に反映させていきたいと考えています。

#### 2. 授業について

授業については、「授業はわかりやすい」、「授業の最初に〈今日のめあて〉を意識して授業を受けることができた」、「ICT 機器〈コンピューター等〉を使う授業はわかりやすい」、「グループ活動を多く取り入れている」、「総合的な学習の時間は、教科以外のいろんなことを学べる」、「家で学校の宿題をしている」の項目で8割を超える肯定的な回答がありました。今後も、自分の考えを自分の言葉で伝える力の育成のために『主体的、対話的で深い学び』に努めていきたいと考えています。

#### 3. 先生について

「先生は、私たちの意見を聞いてくれる」、「先生は、いじめや校内暴力など、私たちが困っていることについて対応してくれる」の項目で肯定的な回答が8割近くありました。しかし、一部の子どもたちは授業や学習内容については質問できるが、個人的な悩みについては相談しにくいところがあるようです。中学生になると、悩みを打ち明けるのは大人よりも同じ悩みを共有する友人と考える傾向が強くなります。引き続き、すべての教職員がカウンセリングマインドを身につけ、学級担任を中心としてお互いに連携し、ひとりひとりの子どもの様子に気を配り、きめ細かな指導に努めてまいります。また、週に一回スクールカウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカー、今年度はスクールカウンセラースーパーバイザーも来校していますので、その利用も呼びかけていきます。

#### 4. 評価について

「通知票の学習成績の評価は理解できる」については、今回も8割近くの肯定的な回答がありました。今後も学習指導要領の趣旨を十分理解するとともに、教育の動向も踏まえながら適切な評価を心がけていきます。

### 【生徒・保護者アンケートから】

#### 家で学校の話をしている

「家で学校生活についてよく話をする」について、生徒は6割以上、保護者の方は7割以上の肯定的な回答がありました。ご家庭の中で学校の話をして頂いていること大変嬉しく思っています。今後ご家庭の話題に上がるような魅力ある学校づくりをめざしていきます。